

# 代表質問

## 自由民主党岡山市議団

### 令和7年度当初予算の特徴

◎ 令和7年度当初予算の重点施策と予算に対する思いは。また、物価高騰に対する支援をどう考えるか。

▲ 取り組んできた施策の成果が活発な民間投資と相まって税収にも好影響を与え、7年度の税収は初めて1400億円超と見込んだ。各分野にわたる施策を着実に前進させつつ、心の豊かさの醸成という視点を重視し、より誇れるまち岡山へと結実させる予算とした。物価高騰対策は、学校給食費負担軽減の支援や省エネ機器更新支援など6年度2月補正予算として提案したい。

### 上下水道管の安全・安心を確保

◎ 他県で下水道管の老朽化による道路陥没、上水道管の破損による大規模漏水が起きたが、本市の対策は。また、過去3年間で上下水道管が起因の道路陥没件数は。

▲ 下水道管は、老朽化が進む中心市街地の管きよをカメラ調査等で計画的に点検している。また、事故を受け、築造から40年以上の大規模な下水道管

5会派の代表が行った質問の中から、いくつかを取り上げて要旨を掲載

に対し、地上から空洞探査を行った。上水道管は、漏水を未然に防止する管路更新を重要度や老朽度により計画的に実施している。下水道管の破損による陥没は大規模ではないが、過去3年間で136件、上水道管は1件である。今後とも点検を充実させ、事故を防止し、安全・安心の確保に努めていく。

### 若者の視点を市政に

◎ 令和6年12月に開催した高校生未来創造会議<sup>※1</sup>では、高校生らしい質問・要望があった。会議に対する感想と提案実現への決意は。



若者らしい提言があった高校生未来創造会議

▲ 公共交通の利便性向上や障がい者への理解促進などに対し若者らしい視点の提言があり、高校生の考えや思い

代表質問は市議会ホームページのインターネット議会議中継で配信しています。



を知り、新たな視点や気づきがあった。参加した高校生も市政により関心を持つてもらう良い機会になったと考える。若者の視点を政策に取り入れることは、市政を展開する上で非常に重要だ。

### アリーナ整備に向けた取り組み

◎ 事業を進めるための経済界からの寄附金額はいつまでに示してもらい、どの程度の金額を想定しているのか。経済界から金額の提示がない場合は市単独でも進めるのか。

▲ 経済界からは、具体的な金額を示せないという回答があったが、これまでの経緯を踏まえ、応分の負担をお願いしていく。市から時期や金額を示すことはずせず、経済界、地元トップチームとともにしかるべき額になるよう一緒に頑張っていく。

アリーナ整備は人々の交流が活発になり、市内外にさまざまな効果をもたらすだけでなく、若い世代に夢を与え、岡山への誇りや愛着を満たす点で進めていくべきだ。本市も、アリーナと企業版ふるさと納税のPR動画・リーフレット等を作成し、アリーナ実現への機運を高めていきたい。

### 災害対応に備え訓練施設を活用

◎ 運用が始まる水難救助訓練施設の概要と消防団員に向けた活用策は。

▲ 消防職員が水難救助訓練等で使用する25mの多目的プールや、深さ10mの潜水プールを備えたエリアがある。また、水害に関する啓発映像や物品展示を見て、風水害の怖さや早期避難の重要性を学ぶ風水害体験エリアもあり、消防団員には、このエリアを利用した訓練を通じ、災害時の活動や啓発等に役立ててもらいたい。

### 暫定指針値を超える

### PFOS・PFOA<sup>※2</sup>への対応

◎ 御津地区の三谷川周辺でPFOSおよびPFOAが国の定める暫定指針値を超えたことへの対応は。

▲ 河川やため池は30地点のうち19地点、井戸は14地点のうち10地点で暫定指針値超過との水質調査の結果を受け、飲用によるばく露<sup>※3</sup>防止のため、井戸の所有者に飲用を控えるよう周知を図った。今後は、有識者の意見を聞きながら継続的な調査や濃度推移の監視を行い、原因の特定につなげたい。また、市域全体では、水質汚濁防止法に基づ

※3 【ばく露】

人や生物が化学品等にさらされること

※2 【PFOS・PFOA】

ペルフルオロアルキル化合物およびポリフルオロアルキル化合物の総称である有機フッ素化合物のうちの2物質

※1 【高校生未来創造会議】

こども基本法等に規定されているこどもの意見表明の機会の一環として、岡山後楽館高等学校の2・3年生を対象に開催した模擬議会

く調査や市独自調査を16地点で実施し、水質の監視を行っている。

### 医療機関の受診の要否を相談

● 救急出動件数は年々増加している。救急需要対策として効果のある#7119（救急安心センター事業）<sup>※4</sup>を導入してはどうか。

▲ 本市には総合病院も多く、周辺市町からの救急医療機関の利用実態を踏まえ、本市単独実施より大きな事業効果が得られる広域的な事業体系として、岡山連携中枢都市圏へ参加を呼びかけた。本市を含む7市町で令和7年10月から実施予定であり、各市町と協力して関係事務を円滑に進める。今後も、他市町村へ参加を呼びかけていきたい。

### 万博を契機とした観光戦略

● 大阪・関西万博は、本市の観光資源を国内外に発信し、誘客を促進する絶好の機会だ。万博への具体的な関わりやPR戦略、ベース宿泊地<sup>※5</sup>に選ばれる取り組みは。

▲ 万博では、白桃などの販売のほか、西のゴールデンルートアライアンスや県内自治体と共同出展し、岡山の魅力を発信する。また、ベース宿泊地<sup>※5</sup>に選ばれるよう、JRレールパスを活用したモデルコースを紹介するリーフレッ

トの関西空港等への設置や外国人団体旅行者向けの宿泊費助成等を検討する。

### 待機児童解消に向けた取り組み

● 放課後児童クラブのニーズは、女性の就業率増加やフルタイム化が進み、年々高まっている。待機児童解消に向けた意気込みは。

▲ 施設整備に加え、民間事業者の新規参入を促進し、令和6年度は約800人の受け皿を整備した。7年1月末時点で入所が決まっていない児童数は473人で、6年度と比べ59人減となった。施設整備を加速するとともに、民間事業者支援の大幅な拡充により受け皿の確保を強力に進め、9年度での待機児童ゼロに向け全力で取り組む。

### 小中学校の猛暑対策を進める

● 夏の猛暑対策として、小中学校に冷水器の設置とミストシャワーの導入が必要ではないか。また、避難所の観点からも体育館へのエアコン整備は重要と考えるがどうか。

▲ 各学校で熱中症対策を徹底しているが、さらなる対策の検討が必要だ。冷水器は市内学校へモデル的に設置し、効果を検証していく。ミストシャワーは、現在導入している学校での好事例を周知するとともに、希望する学校へ

の設置を検討する。また、体育館のエアコンは、災害時等の避難所の環境改善にも有効であり、令和9年夏前までに市内中学校へ整備する予定。

### 学校給食へ有機農産物の導入を

● みどりの食料システム戦略を踏まえ、市町村は有機農業の取り組みを推進することになり、学校給食に有機農業で生産された食材を導入する自治体が増えている。本市も、小規模校から食材を限定してでも、導入の第一歩を踏み出してはどうか。

▲ 安定供給や価格面が課題だが、導入した自治体の事例等の調査・研究を行い、まずは小規模校からどのような形で導入できるか模索していく。

### 公明党岡山市議団

#### バス路線を再編し利便性を向上

● バス路線再編に伴い、令和7年度に運行開始予定の4路線の運行開始時期や路線の特徴、期待される効果は。また、JR駅との接続状況は。

▲ 4月1日から第1弾となる妹尾・北長瀬線、10月からは高島、西大寺、庭瀬の3路線の運行を開始予定。妹尾・北長瀬線は、鉄道とバスの接続がおおむね15分以内となるダイヤを設定して

おり、通勤や通学、通院、買い物など日常的な移動の利用が格段に向上する。その他の路線も、定時性・速達性に優れたJR駅や路面電車に継ぎ目なく接続させることで、公共交通ネットワークの充実につながると考える。



新設の支線が接続する妹尾駅

#### 带状疱疹ワクチンの接種費用を助成

● 厚生労働省は、令和7年4月から带状疱疹ワクチンを定期接種化する方針を示した。本市では、7年度当初予算にワクチン接種にかかる自己負担額の半額助成を盛り込んでいるが、予算計上に至った経緯は。

▲ 带状疱疹は70歳代が発症のピークで、10〜50%の方は3カ月以上にわたって痛みが続く带状疱疹後神経痛という合併症を引き起こすこともある。発

※7【みどりの食料システム戦略】食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立を革新的な方法で実現するために、令和3年5月に国が策定した政策方針

※6【JRレールパス】短期滞在の訪日観光旅客が対象の、日本中を鉄道で旅行するのに適したお得で便利なJR乗車券

※5【西のゴールデンルートアライアンス】欧米豪旅行客などをターゲットとし、西日本・九州の誘客促進を目指し、大阪以西の自治体や観光関連団体、民間企業等160を超える団体が構成された組織

※4【#7119（救急安心センター事業）】市民が急な病気やけがをしたときに、医療機関の受診の要否などに迷った際、看護師等の専門家が電話で相談事業を行う

症すれば、高齢者の生活の質を低下させる要因にもなり、接種費用も高額のため、接種しややすい環境を整える必要があると考え、半額を公費負担することとした。4月1日からの接種開始を目指す。

### 防犯カメラの設置を進め地域の防犯力を強化

安全で安心なまちづくりを目指し、防犯カメラの新規設置や更新設置の経費を一部助成しているが、補助率や設置台数の制限があり、現行制度では希望する場所に設置できないケースがある。特に通学路は、保護者や地域住民から設置の希望があり、必要な場所へ設置を進めるべきだと考えるがどうか。

防犯カメラの設置は町内会が主体だが、組織力の低下や物価高騰の影響から負担が大きいと聞いている。地域防犯力の強化を進めるため、1台当たりの補助額の上限を20万円から30万円に増額し、補助率は3分の2から実績額に応じた限度額までと大幅に見直す。警察とも連携し、各地域で必要な場所に設置できるよう進めたい。

また、これまで設置がなかったすべての市立学校124施設にも設置を考えている。

### 困難を抱える家庭の支援を充実

共働き世帯が増え、核家族化が進む中、ファミリーサポート事業のニーズは高くなると考えるが、ひとり親世帯や低所得世帯の方から金銭的な問題で頼みにくいという声を聞く。サポートを必要とする方が利用できるよう、制度の充実が必要と考えるがどうか。

困難を抱える家庭が経済的な理由で利用を諦めることがないよう、利用料の半額を補助する制度を令和7年度秋を目途に導入したい。対象は、児童扶養手当を受給しているひとり親世帯、住民税非課税世帯、生活保護世帯、育児と親等の介護を同時に行っているダブルケア負担の世帯、障がい児のいる世帯、多胎児のいる世帯を考えている。

### 日本共産党岡山市議団

#### マイナ保険証に関する相談窓口を拡充

マイナ保険証への不安や、保険証とのひも付け登録の取り消し希望に対応する相談窓口を周知してもらいたいがどうか。

令和7年7月の保険証一斉更新時に同封する案内文や、市広報紙やLINEなどのSNSを活用し、相談窓口

の周知に努める。また、7年7月から8月にかけては、マイナ保険証に関する問い合わせを受け付ける専用電話も設置し、相談窓口を拡充する。

### 燃料費等を公費負担し給食費の保護者負担を軽減

子育て世帯への生活実態調査から、不安を抱えながら子育てをしている親が非常に多いことが分かる。保護者負担軽減のため、学校給食費についてどのように検討したのか。令和7年度の負担はどうなるのか。



給食費の燃料費等を公費負担

学校給食費の燃料費等を公費負担にすることや、米価格の急激な上昇に対応するため、臨時交付金を活用した支援等を検討してきた。

7年度は、燃料費等を公費負担とし、臨時交付金を活用して、小学校8円、中学校13円を支援することで、給食費

の保護者負担額は、一食当たり小学校322円、中学校384円となる。

### アリーナ建築面積当初計画時から増加

アリーナ整備の追加調査の結果、当初から大幅に席数を拡大しているが、建築面積はどの程度増えるのか。メインアリーナは、ジップアリーナと同等のフロア面積を想定しているか。サブアリーナは、どれくらいの広さでどこに造るのか。

想定建築面積は、基本計画時の約9100㎡から500㎡程度増え、約9600㎡となる。また、メインアリーナのフロア面積は、ジップアリーナより多少狭くなる。サブアリーナについては、周辺道路の整備等を行い、敷地面積の整理をすれば敷地内での併設は可能と想定しており、バレーコート2面分と観客席も設置したいと考えている。

### みらいえ

#### 渋滞緩和に向けた交差点の改良

本市の交通政策と道路事業の連携についての所見は。また、公共交通の定時性・速達性を確保する上でターゲットとなるボトルネック交差

※9【ボトルネック】道路網または道路の一部区間で交通容量が前後の区間に比べて小さく、交通の妨げとなっている地点または区間

※8【ファミリーサポート事業】子育ての応援をしてほしい人と応援をしたい人が会員となり、子どもの預かりや保育園・塾の送迎などの相互援助活動を行うもの

点の場所と、改良する交差点の優先順位の基準は。

**A** 過度の自動車依存から脱却し、公共交通との連携を強化する道路ネットワークの構築に取り組んでいる。

ボトルネック交差点となる主要渋滞箇所は、令和6年8月時点で40箇所、そのうち37箇所がバス路線にある。改良には事業費、用地取得の有無、施工性などを勘案し、対策可能な箇所から順次対応しており、現在、古京交差点や庭瀬交差点の工事を実施している。



改良が進むボトルネック交差点(庭瀬交差点)

### 夜間中学で 安心して学ぶ体制を整える

**Q** 令和7年4月に開設する夜間中学の学級編成、教育課程、時間割編成は。また、高齢者や障がい者への合理的配慮、日本語が十分でない外国人への配慮をどう考えているか。

**A** 7年度は1クラスの編成で、教育課程は月曜から金曜まで1単位時間40分の授業を1日4コマ、年間総授業時間を700時間で編成している。生徒の状況を踏まえて、複数の教員で生徒一人一人に寄り添った柔軟な対応をしていきたい。日本語の配慮が必要な生徒には、習熟度によりICT機器等を活用しながら支援を行う予定。

### 自己負担を軽減して 不妊に悩む方を支援

**Q** 令和7年度当初予算では、不妊治療への支援拡充が計画されているが、具体的な支援内容は。また、利用しやすい環境整備をどう考えるか。

**A** 不妊に悩む方が、経済的な理由で不妊治療を断念することがないように、治療を実施する夫婦(事実婚を含む)のうち、健康保険適用の生殖補助医療<sup>※10</sup>を受けた方に、1回の治療につき10万円を上限に自己負担額を助成する。申請手続きの負担軽減や利用しやすい環境整備については、関係医療機関と相談していく。

### おかやま創政会 給食調理場の環境を改善

**Q** 給食調理場の暑さ対策として、

令和7年度当初予算でスポットクーラーの配備等があげられているが、環境改善として十分ではない。設置場所や受電容量の制限があるなど、調理場の状況や課題はさまざまである。状況調査と対応策をどう行うか。

**A** 調理員は大変な状況下で作業を行っており、健康に関わる喫緊の課題であると認識している。7年度早々に移動式スポットクーラーを配備できるようにし、夏には間に合わせたい。現在、余剰スペースや電気容量を調査しており、各調理場の状況に応じて、どのような暑さ対策が講じられるか検討する。

### 区ごとに実効性のある戦略を

**Q** 第7次総合計画<sup>※11</sup>策定にあたって、<sup>※12</sup>区別計画が重要な意味を持つと考える。区ごとにこれまでの取り組みの成果と課題を振り返り、次の10年間で展望した実効ある戦略・戦術を立てる必要がある。区別計画策定のスケジュールや課題意識は。

**A** 令和7年3月に現行の区別計画の総括を行うとともに、3月と5月にワークショップを9回開催し、地域の声を丁寧聞く。5月ごろに提示する次期総合計画の基本的な考え方の中で区別計画の位置付けを示し、7年度中の策定を目指す。

10年前に策定した際には、区の独自性がどこまで出せたかという反省点があり、どのように区に重点を置いたやり方ができるか考えていきたい。

### 岡南大橋東側の渋滞を緩和

**Q** 岡南大橋東側の渋滞が激しく、生活道路に多数の車両が流入しており、改善を求める声が多い。渋滞の原因と考えられる箇所の緩和工事を令和7年度はどう進め、いつまでに完了させるのか。

**A** 岡南大橋東側においては、ピーク時には約1・6kmの渋滞が発生している。6年度から道路の詳細設計を実施しており、7年度からは順次、車線数を増やす工事を進め、9年度中には工事が完了する予定である。



渋滞の激しい岡南大橋東側

※10【生殖補助医療】

妊娠を成立させるためにヒト卵子と精子、あるいは胚を取り扱うことを含むすべての治療あるいは方法

※11【第7次総合計画】

市の中・長期的なまちづくりの指針を総合的に示す最上位の計画であり、分野別計画と区別計画で構成されているもので、令和7年度中の策定を目指して取り組みを進めている

※12【区別計画】

各区の特徴的な課題に対応し、区の特性をいかしたまちづくりを進めるための施策を整理したもの